

大学のあるまちづくりの進捗状況等について

1 千葉大学墨田サテライトキャンパスの機能強化について

(1) 医学部関連組織の設置について

墨田サテライトキャンパスの機能強化を目的として、医学部附属病院東洋医学センター「すみだ漢方研究所(仮称)」を、新たに設置する。

(2) 施設の特徴

「生活の全てをシミュレートする」デザイン教育研究拠点というキャンパスの特徴を生かして、「未来の診療施設」を開設し、施設(ハード)と診療(ソフト)を連動させた、デザイン性の高い、従来の診療施設とは一線を画する施設となる。

(3) 主な研究内容及び地域貢献について

- ア 国産生薬を臨床活用する研究
- イ 新規開発「漢方AI」の実証研究
- ウ 研究のための漢方診療(自由診療)
- エ 地域住民向け健康づくり公開講座の実施

2 すみだメディアラボについて

(1) 設置目的

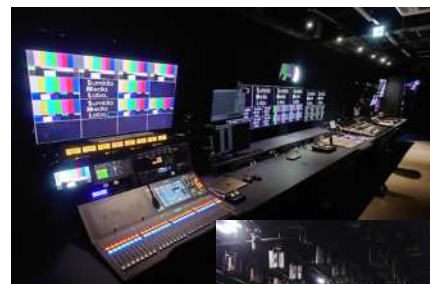
学校法人電子学園の教育研究、産学連携、社会連携拠点となるスタジオ  
教育研究：教育用コンテンツや学生作品の制作、起業や地域課題解決の発表  
社会連携(地域貢献)：スタジオ体験、区民参加型の番組・コンテンツ制作

(2) 施設概要

墨田区文花1-20-6 延べ床面積：708.40平方メートル  
地上2階建て(1階：スタジオ・ラウンジ、2階：調整室・控室)



すみだメディアラボ 外観



調整室



撮影スタジオ

### (3) 管理運営について

「大学のメディア化」を目指し、吉本興業グループ傘下のBS よしもと株式会社を共同運営パートナーとし、全国でも類を見ないメディア教育の拠点として、魅力あるコンテンツ制作・配信を進めていく。

### (4) 三者協定について

デジタルトランスフォーメーションに関連する分野等において交流を図ることを目的として、次のとおり三者協定を締結する。

名称：墨田区、BS よしもと株式会社及び学校法人電子学園との連携協定

内容： 三者の教育研究に関する人的資源の交流及び知的・物的資源の相互活用  
メディア教育やデジタルコンテンツ制作を通じた地域産業の活性化、学習支援等の事業推進

## 3 UDC すみだ関連事業について

### (1) あずま百樹園再整備に伴うトイレアイデアコンペ及び設計について

令和3年6月にUDC すみだが開催した「大学のある街のトイレ アイデアコンペ」で最優秀賞に選ばれた千葉大学建築学コースの学生のアイデアをベースに、UDC すみだを中心となり実施設計を行った。



あずま百樹園再整備工事（令和5～6年度 予定）

### (2) アカデミックハウスプロジェクトについて

京島の古民家を所有するオーナーから、UDC すみだに対し、この古民家を地域や学生のためになる施設として活用してほしいという相談があった。そこで、防火・耐震性の向上や空き家解消を前提とし、学生自身が「考え」「作り」「住む」ことを目指す「アカデミックハウスプロジェクト」として公民学連携により事業を進めている。

